

四月号塾だより

今月号のトピックス

- ・春期講習の日程
- ・公立高校入試結果
- ・〈リンク：わが家の幼稚園が終わりました〉
- ・本の紹介コーナー

春期講習の日程

☆3月27日（木）から4月7日（月）は春期講習期間です。

☆3月22日（土）から26日（水）は休塾です。補習等もございませんのでお気を付けてください。

☆春期講習中は、中学生の通常授業を行いません。

☆講習科目登録書をまだ提出されていない方は、講習初日にお持ちください。

☆春期講習中、小学生は授業の時間が変わります。

3月27日（木）	計算教室14：00～15：00 英語教室15：10～16：10
3月28日（金）	英語音読14：00～15：00 国語教室15：10～16：10
4月 1日（火）	計算教室14：00～15：00 英語教室15：10～16：10
4月 2日（水）	英語音読14：00～15：00 国語教室15：10～16：10

編集

山口将志
大崎拓己

矢田力椰

2025年度公立高校入試 結果

本年度の高校入試、全員が第一志望合格とはなりませんでしたが、全員が最後まで努力を重ねてくれました。卒業生たちの努力の結果をお伝えします。

川越女子	1名
所沢北（普通）	4名
和光国際（普通）	1名
川越南	2名
所沢	1名
筑波大学附属坂戸	1名
松山（普通）	2名
松山女子	1名
市立川越（普通）	4名
所沢西	1名
坂戸（普通）	1名
坂戸西	2名
川越西	3名
豊岡	2名
狭山清陵	3名
川越初雁	1名

<リンク:わが家の幼稚園が終わりました>

山口のコラム「わが家の幼稚園が終わりました」は長文と
なってしまったため、ホームページの塾ブログに掲載させて
いただきますm(_)m

以下、記事のリンク、QRコードになります。

お時間ある時にご覧になって頂ければ幸いです！



<https://yamaguchi-juku.jp/kindergarten-story/>

本の紹介コーナー

逢坂冬馬『同志少女よ、敵を撃て』

新学期の季節になりました。いかがお過ごしでしょうか。

一週間ほど前から、受験生たちの本番のテストの点数の結果報告が届いています。頂いた報告を見ると、やはり理社が勝負の鍵になる、という印象を受けます。もちろんほかの教科をおろそかにしていい理由にはなりません。知識を覚えることによって点数に結び付きやすく安定して得点しやすいという観点で見ると、やはり理社は重要な科目です。

理社の特徴として、ほかのところで勉強した知識がそのまま生きることがあります。

たとえば先日、中学3年生の国語の授業で「論語」という漢文の単元を勉強しました。「論語」では、「孔子」「儒教」といった単語が登場します。それらの単語はそのまま、歴史でも出題されることがあります。

また中1の「ダイコンは大きな根？」という単元で出てきた、植物の「根」「茎」「葉」という区別も、理科では非常に大切です。

今回取り上げる小説 逢坂冬馬『同志少女よ、敵を撃て』は1940年代のソ連（ロシア）とドイツとの戦争をテーマにした作品です。テーマが戦争という重々しく感じられるかもしれませんが、この作品が焦点をあてているのは、戦争で活躍した女性の狙撃手です。国家間の大規模な戦闘というよりも、そのなかで個人がどのように生きたのか、ということに重きが置かれています。

戦争を描いている作品ですので、命のやり取りが多く描かれます。主人公である狙撃手は故郷の家を焼かれ、敵への憎悪を燃やし、戦いに身を投じます。

戦争を生き抜くことはできるのか、戦争が終わった後、戦うことしかできなくなった軍人はどうやって生きていくのか、そして「敵」の確たる正体は何なのか。

有名なタイトルなので、もうすでに読んだ方もいらっしゃると思いますが、まだ読んだことのない人はぜひ、挑戦してみたいかがでしょうか。

（大崎）